

中国(中国水利学会総会及び現地調査)報告

研究第四部 主任研究員 西畑 昭史
研究第四部 研究員 藤本 真宗
技術普及部 副参事 伊藤 将文



1. はじめに

2005年10月31日より11月5日までの6日間、中国山東省青島市における、2005中国水利学会年次総会において日本水資源学会の日中共同研究プログラムに基づく同国際委員会代表として国際セッションの論文発表のために同総会に出席し、日中韓での国際共同研究交流を実施した。その後、北京市において、JICAとともに中国水利部と河川環境技術に関するワークショップを実施した。会議日程等は以下である。

- 11月1日(青島市) 中国水利学会開会式、基調講演
- 11月2日(青島市) 水利学会国際セッション
- 11月3日(北京市) JICA訪問、転河現地調査
- 11月4日(北京市) 水利部環境研究所ワークショップ

2. 中国水利学会

中国水利学会は中国の水利水文分野の総合的学会であり、毎年産官学の全分野から中国全土で500名以上が集まり、各分野の選抜された論文の発表がなされる。2005年は青島市で開催され、6つのセッションが開かれた。



水利学会開会式



国際セッション参加者

今年度は初めて国際セッションが開かれ、日本・韓国から、以下の発表があった。

- ① 開会挨拶；学会実行委員長Li Zantang (李建国)
- ② 中国のダム建設による住民移転問題：SHI Guoqing(Hohai大学教授)
- ③ 韓国における渇水モデル開発：Sang Man Jeong (Kongju国際大学教授)
- ④ 河川再生国際ネットワーク開発：伊藤一正(建設技術研究所)
- ⑤ シアトル市における河川再生事業：She Nian (シアトル市)
- ⑥ 河川再生の地方政府とNGOの連携：Gye Woon Choi (仁川大学教授)
- ⑦ 日中における水利分野連携事業：JICA池田鉄哉
- ⑧ 黄河流域における水問題：Jia Yangwen (水利部、水利水電科学研究院)
- ⑨ 河岸さざ波の酸素供給機能：Kim Jin Hong (Chung-Ang大学教授)
- ⑩ 二次元回帰解析の数学モデル：Chang Hae Lee (Deajin大学教授)
- ⑪ 北上川下流でのガン・カモ類の保全について：藤本真宗 (リバフロ)
- ⑫ 発電開発に伴う生態環境問題について：Chen Jin (長江水利委員会)

韓国、日本からは河川環境再生に関わる課題、中国では渇水、魚道などの生態の問題、河川再生に関わる環境等がテーマとして発表された。

3. 中国水利部環境研究所とのワークショップ

中国水利部水利水電科学研究院環境研究所において、河川環境修復、生態修復に関するワークショップを開催した。この会議は中国水利部水利水電科学研究院とリバーフロント整備センターとの協同のワークショップで、相互の情報交換を目的に実施した。環境研究所からは、薫哲人(前水利部国際局長)、彭静氏(副所長)、李文奇(高級工程司)他19名が出席した。

- 9:30~10:30リバーフロント紹介(砂川専務理事)
- 10:30~11:00河川水辺の国勢調査(西畑)
- 11:00~11:30河川再生国際ネットワーク(伊藤)
- 11:30~12:00総合討論(全員)

総合討論における中国水利部水利水電科学研究院側の興味は生態及び環境再生に集中しており、特に水利部は現在の洪水・渇水の問題の次に水環境を重要視している。



中国水利水電科学研究院



ワークショップの開催

4. JICA北京事務所

JICAの水利部との共同プロジェクトに「中国水利人材養成プロジェクト」があり、中国水利部人事労働教育司、水利部国際合作科学技術司が中心となり、日本側は河川局、国土技術研究センターがJICAプロジェクトとして中国水利部人材の教育訓練を実施している。

また、北京市における河川復元事業の現地視察を実施した。中国はソウル市のチョンゲチョン川よりも早く、転河の再生を完成させ、現在、市民の散策の拠点、観光の拠点として大成功を納めた事業となっている。



転河の様子(北京市)

